

複合経営による販売額1,000万円達成プラン

事業実施主体名	上田 一	住 所	八頭町
プラン認定日	平成23年11月1日	プラン期間	平成23年～平成25年

1 プラン内容

(1) 概要

上田氏は、白ネギを中心に、花き（ハウス・露地）、水稻、その他野菜の複合経営を以前から行っていたが、白ネギ（秋冬）出荷終了後に出荷できる品目がなかったこと、白ネギの土壌病害に悩まされていたことから、平成17年、「年間を通して所得確保を実現したいプラン」の認定を受け、ハウス2棟の増設と白ネギの排水対策用の機械導入を行った。その結果、経営の柱の一つとなった花きにおいては、ハウス4棟を活用し、年2回の作付を回転させることで効率よく栽培を行うことができるようになった。

しかし、もう一つの経営の柱である白ネギについては、ほ場の水はけがよくなく、平成17年チャレンジプラン支援事業により導入したプラソイラーを活用した排水対策だけでは十分な効果を上げることができず、品質低下の原因となっていた。また、白ネギ、花きの出荷調製を行うに当たり、規模拡大とともに農機具保管庫兼作業小屋が手狭になり、効率的な作業の支障となっていた。

そこで、平成23年、経営の安定化を図るとともに、地域の複合経営のモデル農家となるべく収入1,000万円を目標として2度目のプラン認定を受け、トレンチャーの導入と農作業小屋の新築を行い、白ネギの品質向上、各作物の出荷調製作業の効率アップ、規模拡大等を図った。

(2) 取り組みポイント

- トレンチャー導入による白ネギ排水対策の徹底
- 農作業小屋新築による出荷調製作業の効率化
- 新規作型・新規品目の導入による白ネギ・花き等の規模拡大
- 作業受託（トレンチャー）の実施

(3) 事業の概要

年度	内 容	事業費 (千円)	補助金額(千円)	
			県	市町村
H23	トレンチャーの導入 農作業小屋の新築	3,559	1,130	565
合 計		3,559	1,130	565

2 プラン実施状況

(1) 労働力、経営内容

	認 定 時	現 状
労働力（雇用）	2人（研修生1人）	2人（研修生1人）
経営内容・規模	白ネギ 38a、花き 22a、 水稲 51a、その他野菜 32a	白ネギ 45a、花き 27a、 水稲 80a、その他野菜 35a

(2) 成果

○プラン目標に向かって規模拡大を進めているところであり、平成24年度は認定時と比較して、30%の規模拡大を行った。

(単位：a)

	認定時	H24年実績(計画対比)	H25年目標
白ネギ	38	45 (100%)	48
花き	22	27 (100%)	27
水稲	51	80 (100%)	80
その他野菜	32	35 (100%)	40
合計	143	187 (100%)	195

○事業によって導入したトレンチャーを用いて自らの白ネギほ場の額縁明渠を掘り、排水対策を行うとともに、周辺の白ネギ農家の希望により、白ネギほ場の額縁明渠掘りの作業受託を行っており、船岡地域の白ネギの品質向上、収量向上につながっている。

(単位：a)

	H23年度	H24年度
作業受託面積	30	60



○新しく農作業小屋を建設したことにより、農機具保管庫と出荷調製作業場所が別々となり、ストックヤードも含めて十分な広さが確保できた。白ネギや花きの出荷調製作業が思い通りの流れでできるようになり、作業能率も上がったと思われる。

○専業農家であることから、集落内の営農継続困難農地についての相談を受けることが多く、できる限りそういった農地を引き受けて、集落内の農地の荒廃防止に努めている。

○八頭郡内でもトップレベルの規模で野菜・花きの複合経営を行うモデル農家であるが、目標達成に向けて更なる規模拡大と所得向上を目指している。



[八頭総合事務所農林局]